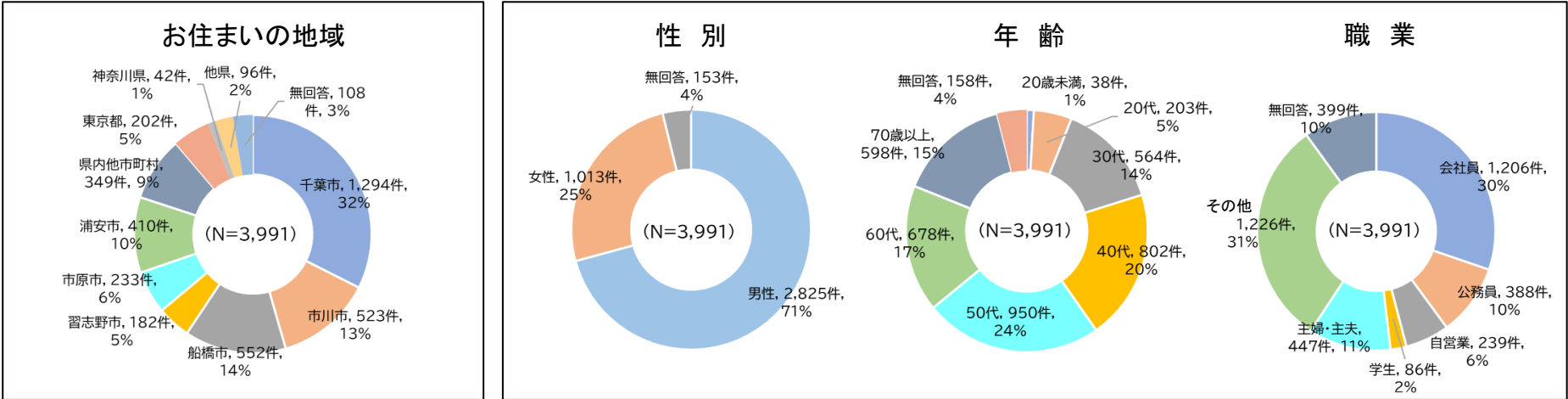


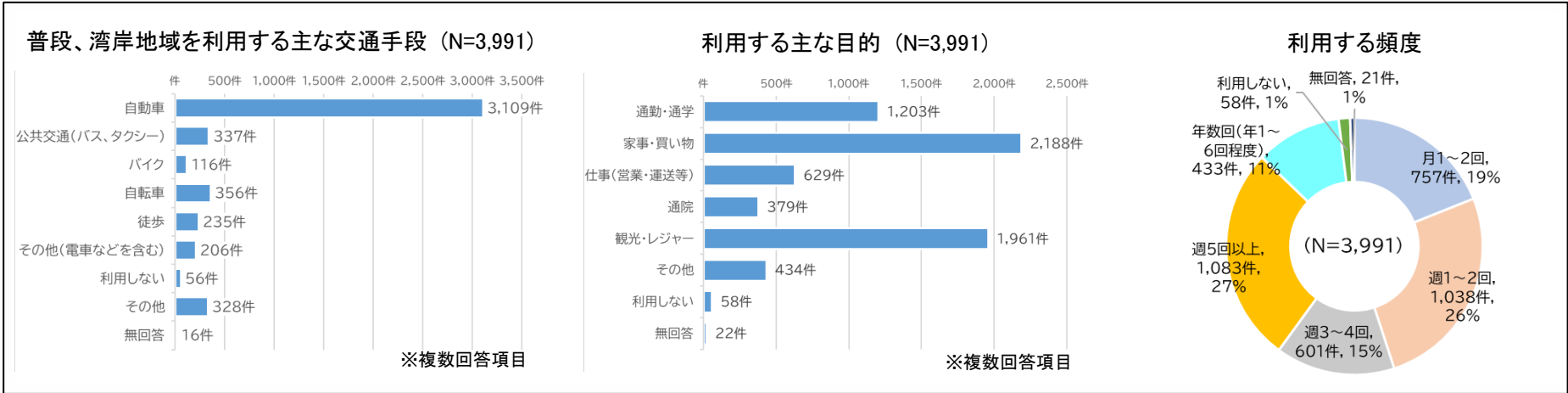
(1) 意見聴取の結果 (住民アンケートの集計①)

- アンケート回答者の属性は、沿線6市にお住まいの方が約8割、男性が約7割、年齢は幅広い層から得られており、職業は会社員とその他が約3割だった
- 湾岸地域の道路の利用状況として、交通手段は「自動車」を利用する方が最も多く、利用目的は「家事・買い物」「観光・レジャー」が多く、利用する頻度は「週5回以上」「週1～2回」が多かった

■アンケート回答集計 (属性)



■アンケート回答集計 (湾岸地域の道路の利用状況)



(1) 意見聴取の結果 (住民アンケートの集計②)

- 湾岸地域において解決すべき課題は、「交通渋滞」への関心が高い回答者が最も多かった
- 新湾岸道路に期待することは、「交通渋滞の緩和」をあげる回答者が最も多かった
- 新湾岸道路について配慮すべきことは、「豊かな自然環境(三番瀬等)の保全」や「生活環境の保全(騒音・振動など)」をあげる回答者が多かった

■アンケート回答集計 (課題、期待、配慮)

